

白山神社の大杉

樹齢と規模の金字塔

この神社は、石川県の白山頂上にある白山比咩神社の分祀です。この神社は、本社とのつながりのある誰かが創建したと考えられていますが、確実にわかっていることは、白山神社の獅子舞は 1797 年に白山比咩神社で発祥したもので、現在でも毎年 5 月と 10 月の年 2 回奉納されています。

この神社では、拝殿の片側だけにそびえる 2 本の大杉がその大きな特徴となっています。左側のスギの幹周は 6.7m で、右側のスギの幹周は 8.2m あり、その樹齢は 800 年だと考えられています。また、道路から本殿へと続く合計 448 段の石段も大木と同様に見事です。